

令和2年度 蒔田中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」取組目標

人間としての望ましい生き方についての理解を深め、人間愛に徹した人間尊重の精神を育てます。

生徒の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

素直で優しい心を持つ生徒が多く、挨拶をする場面がみられる。また学校行事等で自己実現の機会を得ることにより充実感を感じている生徒も多く、将来の目標に向けて学習や諸活動に取り組んでいる。しかし、生徒を取り巻く環境によるさまざまな課題もみられるため、他者との関わりの中で、規範意識や日々の学習が道徳的实践力に結び付くことを望みたい。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・道徳の時間を中心として、全ての教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・「体育祭」「花ノ木祭」等の行事に取り組み、主体性や責任感・協力し合う心を育む。
- ・「人権の樹」等の人権週間の取り組みや、委員会活動における福祉や美化への参加協力により、人権感覚を常に意識して生活する態度を育てる。

「道徳の時間」の充実

- ・要としての「道徳の時間」と全教育活動との密接な関連を図りながら、計画的・発展的な指導によって道徳的価値について学習を深めながら道徳的实践力を育成する。
- ・生徒にとって魅力的な教材開発と授業展開の工夫を図る。

体験活動の充実

- ・「体育祭」「花ノ木祭」や各学年の遠足・宿泊行事また委員会活動などに積極的に取り組み、自主的に運営する望ましい集団活動を展開する力を養う。
- ・「職業講話」「職場体験」「農業体験」「進路」の各学習を計画的に進め、発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。

確かな人権感覚・意識の育成

- ・人権研修の実施、特別支援教育・国際理解教育の推進を図る。
- ・道徳の公開授業を行うとともに、学校掲示板やホームページ、学校・学年だより等にて家庭・地域に情報を発信し意識の啓発を図るとともに、連携して子どもを育む。
- ・「国際平和スピーチコンテスト」「人権作文コンテスト」等に学校全体で取り組む。